

公益社団法人 川口青年会議所

第173回通常総会資料



2022.9.3 メディアセブン 7 階
プレゼンテーションスタジオ

公益社団法人 川口青年会議所
Kawaguchi Junior-Chamber Incorporated

この通常総会資料は、再生紙を使用致しました

公益社団法人 川口青年会議所

公益社団法人 川口青年会議所

第173回通常総会 次第

日 時 2022年9月3日(土)
開 会 14:00 閉会15:55
会 場 メディアセブン 7階
プレゼンテーションスタジオ
運営担当 総務広報委員会
司 会 二瓶 哲郎 君

1. 点鐘 第58代理事長 木村 紳吾 君
2. 開会宣言 戸塚 翔 君
3. 国歌斉唱
4. JCソング斉唱
5. JCI Creed唱和 藤田 夏輝 君
6. JCI Mission並びにJCI Vision唱和 小島 哲生 君
7. JC宣言文朗読並びに綱領唱和 廣瀬 大志 君
8. 関東地区宣言唱和 黒川 健人 君
9. 入会体験者紹介
10. 理事長挨拶 第58代理事長 木村 紳吾 君
11. 3分間スピーチ 瀬戸 聖亨 君
12. 正会員認証
13. 会員慶事
14. 次年度理事長予定者への当選証書授与
15. 推薦人スピーチ
16. 議事 議長 西村 太輔 君
 - 16-1. 2022年度 補正収支予算書(案)承認に関する件
 - 16-2. 2023年度 理事 永井 光義 君選任(案)承認に関する件
 - 16-3. 2023年度 理事 瀬川 智広 君選任(案)承認に関する件
 - 16-4. 2023年度 理事 廣瀬 翔 君選任(案)承認に関する件
 - 16-5. 2023年度 理事 飯嶋 大祐 君選任(案)承認に関する件
 - 16-6. 2023年度 理事 岩本 智春 君選任(案)承認に関する件
 - 16-7. 2023年度 理事 梅田 健志 君選任(案)承認に関する件
 - 16-8. 2023年度 理事 福田 隆広 君選任(案)承認に関する件
 - 16-9. 2023年度 理事 中村 光彦 君選任(案)承認に関する件
 - 16-10. 2023年度 理事 藤田 夏輝 君選任(案)承認に関する件
 - 16-11. 2023年度 理事 平野 大太 君選任(案)承認に関する件
 - 16-12. 2023年度 直前理事長 木村 紳吾 君選任(案)承認の件
 - 16-13. 2023年度 監事 赤羽 孝太 君選任(案)承認に関する件
 - 16-14. 2023年度 監事 伊藤 孝弘 君選任(案)承認に関する件
17. 役員投票
18. 委員会活動報告発表
19. 役員投票 結果発表
 - 19-1. 2023年度 理事長候補者選出(案)承認に関する件

19-2. 2023年度 組織図(案)承認に関する件

20. 次年度役員紹介

21. 連絡報告事項

22. 出向者報告

23. 次回例会案内

24. 出席率並びにニコニコボックス発表

25. ポイント発表

26. 監事講評

27. 若い我ら斉唱

28. 閉会宣言

29. 点鐘

会員研修委員会

瀬戸 聖亨 君

瀬戸 聖亨 君

監事 平野 大太 君

戸塚 翔 君

第58代理事長 木村 紳吾 君

審議一 1 公益社団法人川口青年会議所
2022年度 補正収支予算書（案）承認に関する件

修正収支予算書

2022年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
(1)経常収益											
受取入会金	0	0	0	240,000	240,000	0	0	240,000	240,000	120,000	600,000
受取入会金	0	0	0	240,000	240,000	0	0	240,000	240,000	120,000	600,000
受取会費	0	0	0	3,177,600	3,177,600	0	0	3,177,600	3,177,600	1,588,800	7,944,000
正会員受取会費	0	0	0	2,131,200	2,131,200	0	0	2,131,200	2,131,200	1,065,600	5,328,000
新入会員受取会費	0	0	0	326,400	326,400	0	0	326,400	326,400	163,200	816,000
特別会員受取会費	0	0	0	120,000	120,000	0	0	120,000	120,000	60,000	300,000
賛助会員受取会費	0	0	0	600,000	600,000	0	0	600,000	600,000	300,000	1,500,000
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
まちづくり事業収益	255,000	695,500	0	0	950,500	0	0	0	0	0	950,500
まちづくり事業収益	255,000	695,500	0	0	950,500	0	0	0	0	0	950,500
* 受取寄付金	0	334,000	0	0	334,000	0	0	0	0	0	334,000
* 寄付金収入	0	334,000	0	0	334,000	0	0	0	0	0	334,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,084	138,084
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14
その他雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,070	138,070
経常収益計	255,000	1,029,500	0	3,417,600	4,702,100	0	0	3,417,600	3,417,600	1,846,884	9,966,584
(2)経常費用											
事業費	1,192,022	2,890,709	2,107,396	0	6,190,127	90,000	1,070,055	0	1,160,055		7,350,182
賃借料	339,060	769,430	80,930	0	1,189,420	85,730	824,580	0	910,310		2,099,730
諸謝金	103,359	31,600	6,930	0	141,889	0	200	0	200		142,089
印刷製本費	38,250	616,650	9,150	0	664,050	2,350	4,996	0	7,346		671,396

修正収支予算書

2022年1月1日から12月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	その他1	その他2	共通	小計		
事務委託費										136,600	136,600
諸会費										204,200	204,200
印刷製本費										335,500	335,500
JCI負担金										94,848	94,848
日本JC負担金										277,500	277,500
関東地区負担金										52,000	52,000
埼玉ブロック負担金										272,000	272,000
国際協力基金										104,025	104,025
日本JC出向者負担金										180,000	180,000
雑誌購読料										128,000	128,000
減価償却費										0	
経常費用計	1,192,022	2,890,709	2,107,396	0	6,190,127	90,000	1,070,055	0	1,160,055	3,197,824	10,548,006
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 937,022	△ 1,861,209	△ 2,107,396	3,417,600	△ 1,488,027	△ 90,000	△ 1,070,055	3,417,600	2,257,545	△ 1,350,940	582,421
当期経常増減額	△ 937,022	△ 1,861,209	△ 2,107,396	3,417,600	△ 1,488,027	△ 90,000	△ 1,070,055	3,417,600	2,257,545	△ 1,350,940	581,421
経常外増減の部											0
(1)経常外収益											0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用											0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
* 他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 937,022	△ 1,861,209	△ 2,107,396	3,417,600	△ 1,488,027	△ 90,000	△ 1,070,055	3,417,600	2,257,545	△ 1,350,940	581,421
一般正味財産期首残高											2,925,142
一般正味財産期末残高											2,343,721
正味財産期末残高											2,343,721

公益社団法人 川口青年会議所 2022年度 修正収支予算書(案)

I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	30,000	×	20 名(正会員承認見込数)	600,000
受取会費				600,000
正会員会費	144,000	×	37 名	5,328,000
	72,000	×	0 名(前期退会者)	0
	144,000	×	0 名(後期退会者)	0
新入会員会費	144,000	×	1 名(1月入会)	144,000
	120,000	×	0 名(2月入会)	0
	108,000	×	2 名(3月入会)	216,000
	96,000	×	0 名(4月入会)	0
	84,000	×	2 名(5月入会)	168,000
	72,000	×	0 名(6月入会)	0
	60,000	×	1 名(7月入会)	60,000
	48,000	×	0 名(8月入会)	0
	36,000	×	1 名(9月入会)	36,000
	24,000	×	3 名(10月入会)	72,000
	12,000	×	10 名(11月入会)	120,000
特別会員会費収入	30,000	×	10 名(本年度ご卒業生)	300,000
賛助会員会費収入				0
シニアクラブ				1,500,000
賛助会員				0
その他				0
事業収入				7,944,000
登録料収入	20,000	×	8 社	160,000
中期ビジョン11月例会インターンシップ登録料				24,323
マイクインパクト7月第一例会 参加費 大人	3,000	×	140 人	420,000
マイクインパクト7月第一例会 参加費 小学生	1,500	×	60 人	90,000
レンタルサイクル	700	×	15 人	10,500
ヘルメットレンタル代	500	×	30 人	15,000
青少年育成委員会6月事業	3,000	×	32 人	96,000
青少年育成委員会6月事業	4,500	×	2 人	9,000
青少年育成委員会8月第一例会	5,000	×	30 人	150,000
				0
受取寄付金				950,500
寄付金収入	0	×	0	0
				0
協賛金収入	10,000	×	29 社	290,000
マイクインパクト事業	44,000	×	1	44,000
				0
雑収入				334,000
受取利息収入	14	×	1	14
その他雑収入	10,800	×	12 カ月	129,600
川口青年経済人連絡協議会事務局委託費	8,470	×	1	8,470
自動販売機設置料				0
経常収益計				138,084
(2) 経常費用				9,986,884
事業費				187,094
1. 会員拡大特別会議				24,323
2. メイクインパクト特別委員会				310,358
3. 中期ビジョン推進特別委員会				1,070,055
4. 会員研修委員会				1,192,022
5. 青少年育成委員会				0
6. 総務広報委員会				4,334,729
管理費				120,000
通信・発送費 例会及び理事会通知等				170,000
什器備品費 コピー機リース料				JCI手帳700円×(出向者数+αを含まず)
JCI手帳700円×(出向者数+αを含まず)				350,000
消耗品費 事務局内消耗品、印刷費				130,198
賃借料 事務局内賃料支出	130,198	×	12 カ月	1,562,376
ホームページ管理・制作				1,515,200
1. 会員拡大特別会議				5,000
2. メイクインパクト特別委員会				5,000
3. 中期ビジョン推進特別委員会				5,000
4. 会員研修委員会				30,000
会議費				5,000
5. 青少年育成委員会				5,000
6. 総務広報委員会				20,000
選挙管理委員会(次年度当選証書)				144,000
理事会費支出				100,000
総会費支出				200,000
水道光熱費				1,274,904
1月~7月分 708,874円 ①(基本計算956円×5.5h×20日×2か月分+基本計算987円×5.5h×20日×3か月分)				300,000
給与手当 ②残業代30,000				108,000
雑費	8,000			120,000
京都会議				6,600
渉外費	100,000			10,000
他団体渉外費	10,000	×	12 カ月	6,600
事務委託費 社労士10,000	6,600			10,000
司法書士10,000	10,000			59,200
諸会費 川口青年経済人連絡協議会	1,600	×	37 名	145,000
種団体事業協賛金				335,500
手帳作成費	610	×	550 冊	61,568
JCI負担金	1,664	×	37 名	33,280
①基本額	1,664	×	20 名(年間新入会員)	30,000
②付加金	5,000	×	37 名(継続会員)	185,000
日本JC負担金	5,000	×	5 名(前期新入会員)	25,000
	2,500	×	15 名(後期新入会員)	37,500
①基本額				10,000
関東地区負担金	1,000	×	37 名(継続会員)	37,000
②付加金	1,000	×	5 名(前期新入会員)	5,000
				20,000
①基本額	6,000	×	37 名(継続会員)	222,000
②付加金	6,000	×	5 名(前期新入会員)	30,000
埼玉ブロック負担金	1,825	×	37 名(継続会員)	67,525
国際協力基金	1,825	×	20 名(前期新入会員)	36,500
日本JC出向者負担金	20,000	×	9 名	180,000
雑誌購読料	3,000	×	37 名(継続会員)	111,000
	3,000	×	1 名(1月入会)	3,000
	2,500	×	0 名(2月入会)	0
	2,250	×	2 名(3月入会)	4,500
	2,000	×	0 名(4月入会)	0
	1,750	×	2 名(5月入会)	3,500
	1,500	×	0 名(6月入会)	0
	1,250	×	1 名(7月入会)	1,250
	1,000	×	0 名(8月入会)	0
	750	×	1 名(9月入会)	750
	500	×	3 名(10月入会)	1,500
	250	×	10 名(11月入会)	2,500
経常費用計				6,213,276
2. 経常外増減の部				10,548,005
(1) 経常外収益				0
中目別記載				0
(2) 経常外費用				0
減価償却費				0
他会計繰替額				0
当期一般正味財産増減額				(581,421)
一般正味財産増減額				2,925,142
一般正味財産期末残高				2,343,721
II 指定正味財産増減の部				0
受取補助金等				0
一般正味財産への繰替額				0
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産増減額				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高	150,000	×	1 2020年分	150,000
	150,000	×	1 2021年分	150,000
60周年積立金	150,000	×	1 2022年分	150,000
(特定費用準備資金制度利用)	150,000	×	2023年分	0
	150,000	×	2024年分	0
周年費用差引 本会計				1,893,721

科目	2022年9月補正予算	2022年1月修正予算	比較増減	%
(1)経常収益				
受取入会金	600,000	600,000	0	6.02%
受取入会金	600,000	600,000		
受取会費	7,944,000	8,700,000	△ 756,000	79.71%
正会員受取会費	5,328,000	5,328,000	0	
新入会員受取会費	816,000	1,572,000	△ 756,000	
特別会員受取会費	300,000	300,000	0	
賛助会員受取会費	1,500,000	1,500,000	0	
その他				
事業収入	950,500	2,340,000	△ 1,389,500	9.54%
登録料収入	950,500	2,340,000	△ 1,389,500	
受取寄付金	334,000	600,000	△ 266,000	3.35%
寄付金収入			0	
協賛金収入	334,000	600,000	△ 266,000	
雑収益	138,084	138,084	0	1.39%
受取利息	14	14	0	
その他雑収益	138,070	138,070	0	
経常収益計	9,966,584	12,378,084	△ 2,411,500	100.00%
(2)経常費用				
事業費	4,334,729	5,390,000	△ 1,055,271	41.10%
管理費	6,213,276	6,557,542	△ 344,266	58.90%
通信・発送費	120,000	120,000	0	
什器備品費	170,000	170,000	0	
消耗品費	350,000	400,000	△ 50,000	
事務局賃借料	1,562,376	1,562,376	0	
ホームページ管理費	24,323	24,323	0	
会議費	319,000	414,000	△ 95,000	
水道光熱費	200,000	200,000	0	
給与手当	1,274,904	1,291,920	△ 17,016	
雑費	300,000	450,000	△ 150,000	
渉外費	108,000	108,000	0	
事務委託費	136,600	176,600	△ 40,000	
諸会費	204,200	204,200	0	
印刷製本費	335,500	335,500	0	
J C I 負担金	94,848	94,848	0	
日本 J C 負担金	277,500	295,000	△ 17,500	
関東地区負担金	52,000	59,000	△ 7,000	
埼玉ブロック負担金	272,000	314,000	△ 42,000	
国際協力基金	104,025	104,025	0	
日本 J C 出向者負担金	180,000	90,000	90,000	
雑誌購読料	128,000	143,750	△ 15,750	
減価償却費	0	0	0	
経常費用計	10,548,005	11,947,542	△ 1,399,537	100.00%
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 581,421	430,542	△ 1,011,963	
当期経常増減額	△ 581,421	430,542	△ 1,011,963	
経常外増減の部				
(1)経常外収益計				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 581,421	430,542	△ 1,011,963	
一般正味財産期首残高	2,925,142	2,925,142	0	
一般正味財産期末残高	2,343,721	3,355,684	△ 1,011,963	
特定費用準備資金制度運用 60周年積立金 2021年、2022年、2023年分	450,000	450,000		

- 審議一 2 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 理事 永井 光義 君 選任 (案) 承認に関する件
- 審議一 3 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 理事 瀬川 智広 君 選任 (案) 承認に関する件
- 審議一 4 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 理事 廣瀬 翔 君 選任 (案) 承認に関する件
- 審議一 5 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 理事 飯嶋 大祐 君 選任 (案) 承認に関する件
- 審議一 6 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 理事 岩本 智春 君 選任 (案) 承認に関する件
- 審議一 7 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 理事 梅田 健志 君 選任 (案) 承認に関する件
- 審議一 8 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 理事 福田 隆広 君 選任 (案) 承認に関する件
- 審議一 9 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 理事 中村 光彦 君 選任 (案) 承認に関する件
- 審議一 10 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 理事 藤田 夏輝 君 選任 (案) 承認に関する件
- 審議一 11 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 理事 平野 大太 君 選任 (案) 承認に関する件
- 審議一 12 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 直前理事長 木村 紳吾 君 選任 (案) 承認に関する件
- 審議一 13 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 監事 赤羽 孝太 君 選任 (案) 承認に関する件
- 審議一 14 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 監事 伊藤 孝弘 君 選任 (案) 承認に関する件

2023年度 役員（案）

役 職 名	氏 名
理 事	永井 光義
理 事	瀬川 智広
理 事	廣瀬 翔
理 事	飯嶋 大祐
理 事	岩本 智春
理 事	梅田 健志
理 事	福田 隆広
理 事	中村 光彦
理 事	藤田 夏輝
理 事	平野 大太
直前理事長	木村 紳吾
監 事	赤羽 孝太
監 事	伊藤 孝弘

審議一 1 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 理事長候補者選出（案）承認に関する件

(様式3)

経 歴 書

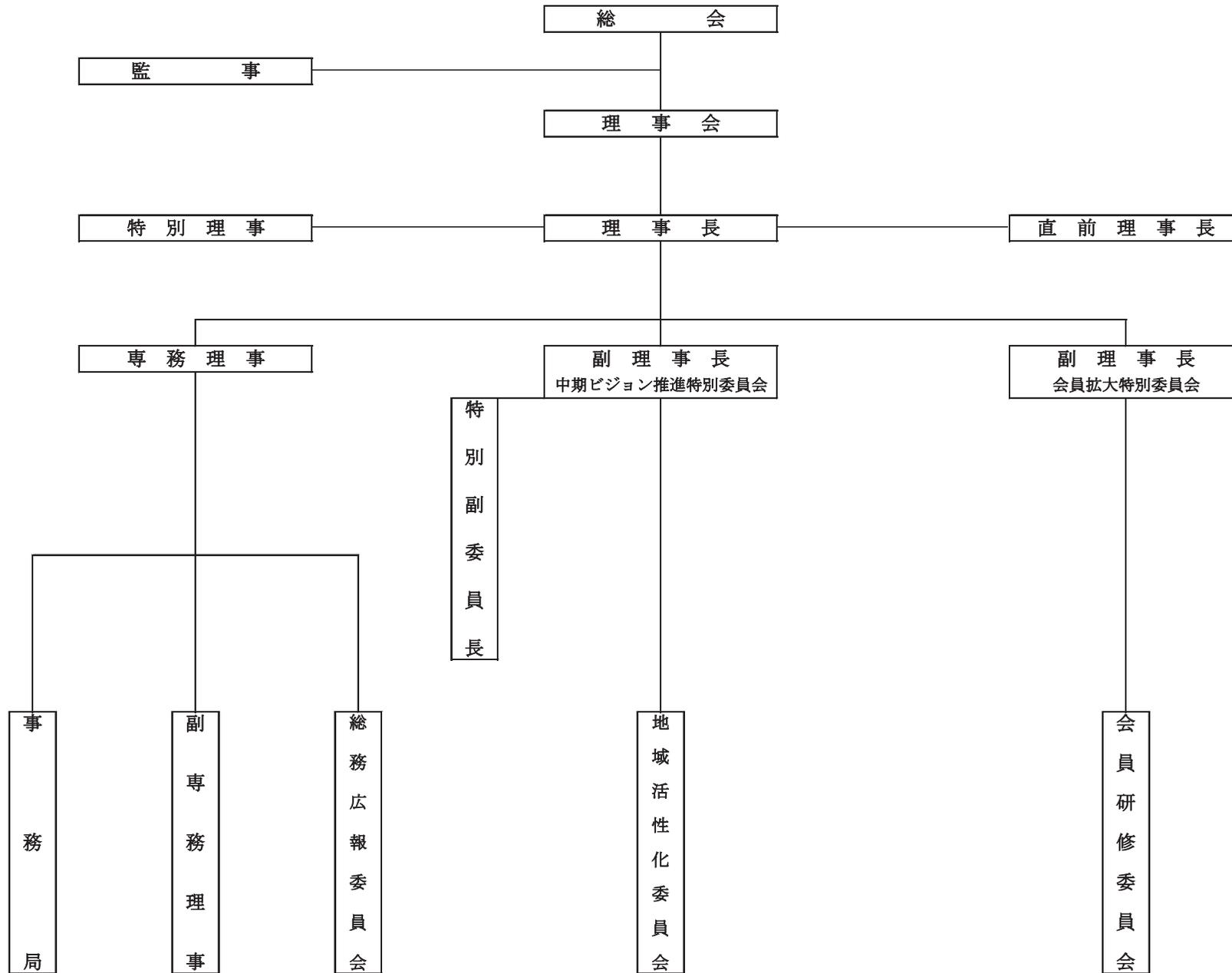
氏 名 永井 光義



西 暦	LOM 内担当委員会	LOM 外 (出向先) 担当委員会 (日本 JC・関東地区・埼玉ブロック)
2012	会員交流委員会 委員	
2013	会員研修委員会 委員	
2014	アカデミー実践委員会 委員	
2015	組織マネジメント委員会 委員	
2016	拡大広報委員会 副委員長	
2017	JAYCEE 育成委員会 副委員長	日本 JC 公益資本主義推進会議 委員
2018	総務局 担当理事	
2019	55周年実行委員会 副実行委員長	埼玉ブロック ブロック大会運営委員会 委員
2020	会員研修委員会 委員長	
2021	SDGs 推進会議 議長	埼玉ブロック LOM 支援委員会 委員
2022	専務理事	

審議一 2 公益社団法人川口青年会議所
2023年度 組織図（案）承認に関する件

公益社団法人 川口青年会議所 2023年度 組織図 (案)



參考資料

「剛毅果断」

～意思を持ち、行動することでより良い地域を創る～

基本方針

1. 一枚岩の拡大と魅力あるリーダーの育成
2. 地域活性化の事業
3. 中期ビジョンの推進と60周年事業準備
4. 市民に伝わる広報と厳格な組織運営

【はじめに】

1964年に愛する川口をより大きく発展させ、世界のすべての青年と共に人類の限らない発展と前進を目的に掲げ、川口青年会議所は設立されました。設立当初から行っている献血会、自己の修練や地域課題を的確に捉えた運動は58年間、今日まで止めることなく邁進し続けています。これは、先輩諸兄姉が目的を明確にし、意思を持ち、思い切った行動を行ってきたことや、川口青年会議所の歴史や文化を大切に思い継承し、運動を行ってきたからです。私達が今自己の修練や地域の課題解決に向けた運動を行えるのは、日頃より私達の運動に対してご理解、ご協力いただいている行政、企業、市民の皆様と、川口青年会議所の思いを継承し続けた先輩諸兄姉のおかげであります。

青年会議所は、「奉仕」「修練」「友情」三つの信条のもと、社会的課題に積極的に取り組み、明るい豊かな社会を実現させるための団体です。今尚、新型コロナウイルス感染症の影響により、当たり前で過ごしていた日常から私達の日常や社会の在り方は変化しています。私達は、この変化した時代に対応し、地域のリーダーになることが青年会議所の使命であります。だからこそ、時代の変化に合わせた地域課題を的確に捉え、地域をより良くするために、剛毅果断の精神で運動を展開する必要があります。

【剛毅果断】

剛毅果断とは、意思をしっかりと持ち、思い切って行動することです。意思をしっかりと持つとは、例会や事業、会議にただ参加するのではなく、目的を明確にし、しっかりと理解した上で新たな考え方を持つことです。思い切った行動とは、その意思の下、失敗を恐れず、決意した目的に対してぶれることなく行動することです。この剛毅果断の精神を軸に青年会議所運動ができるようメンバーを牽引いたします。

青年会議所の任期は単年度制で1年ごとに様々な運動をし、経験を積むことで自己成長ができます。しかし、単年度制であることから1年間で結果を求め、検証を行うので、運動内容に対してどこかで可能性を縮めているところがあります。可能性を縮めるのではなく、どうすれば自己の修練になるのか、どうすれば地域がより良くなるのかを考え、例会や事業が成功する姿を思い描き、少し背伸びをした運動を展開することがさらなる自己成長に繋がります。そのためには、一人ひとりが目的を考え、意思をしっかりと持ち、思い切って行動することが大切です。そうしたメンバーを創出することで、個の力が団体の力となり、より良い地域になると確信しています。

【一枚岩の拡大と魅力あるリーダーの育成】

・一枚岩の拡大

青年会議所運動をより人から人に発信し、今以上の運動展開、事業の質を向上させるために会員拡大は必要不可欠です。現在会員数は減少傾向になっています。どこかで減少を止めなければ58年の歴史や伝統を継承していくことが困難にもなり、組織の存亡に関わるといっても過言ではありません。その為に、川口青年会議所が一枚岩となりこの課題を解決しなければなりません。来年度以降50名以上のメンバーで運動できるよう、志を共有する仲間を今年度は20名以上拡大することを目標に行います。一枚岩となって会員拡大を行わなければ、目標を設定しても達成できません。拡大をしなければどうになってしまうのかを真剣に考え、メンバー全員が会員拡大に対して当事者意識を持つ仕組みを作り、目標を設定していく必要があります。常にどんな拡大対象者がいるのかをメンバー全員がわかるようKJCコミュニケーションやSNSを利用し、今使われている拡大リストをより活用して情報共有し、委員会内でも拡大に対しての意識が薄くならないように毎月情報整理をいたします。また、目標を決めた異業種交流会を行い、相手が何を求めているのか、青年会議所の可能性を伝えることでスケールメリットを感じていただき、メンバー自身が入会体験者をふるいにかけるのではなく、受け皿を大きくすることで、会員拡大に繋げていただきます。

・魅力あるリーダーの育成

新入会員にとっては、青年会議所に取り組む姿勢や考え方が決まってしまう委員会と言っても過言ではありません。だからこそ、青年会議所としての知識や行動を伝える必要があります。常に入会したメンバーが知識を得られる体制の構築をしていただき、さらに、模擬理事会で議案の構築やロバート議事法を学んでいただきます。例会や事業にただ参加するのではなく目的を説明し理解して参加することで、より青年会議所の魅力を感じて成長していただき、教わる側から教える側になっていただきます。また、新春祝賀会、親睦会、卒業式・忘年会の例会を通じて、先輩諸兄姉の歴史や伝統を学び、厳格な設営を通して、川口青年会議所でしかできない経験、厳しさや達成感を体感していただきます。そし

て、青年会議所に魅力を感じ、次年度以降、川口青年会議所の中心になれるメンバーを多く創出していただくとともに、川口青年会議所の元気のバロメーターとして、メンバーの活性化に繋ぐ役割も行っていただきます。

【地域活性化の事業】

地域活性化とは、市民が地域に対して関心を持ち、積極的に様々な事業や町おこしに参加することを指します。川口市は、住みやすい街として上位に入っており、日常生活をする上で快適さや利便性が高く評価され、住み続けたいと思っている市民が8割以上となっています。また、平成30年に川口市は中核市となり、今では60万人以上が住んでおり、今尚、人口が増加傾向であります。しかし、地域に関心を持っていない市民が多く、その例として前回の川口市議会議員一般選挙を見ると、投票率全体は34%と低く、特に次世代を担う若年層は2割を切っており、特に関心が薄いと言える状況です。まず、市民全体に対してなぜ投票に行くのかを考えていただき、投票率を上げることを目指し、関心を深めていただきます。また、若年層をターゲットに川口市の将来を模索していただき、これからも住み続けていくためにどんな街にしていくのか、どんなことがあれば住み続けられるのかを共に考え、未来を描くことで地域に対して関心を持っていただきます。そして、市民が地域に対して関心を持つ事業を行うことで、様々な事業や町おこしに参加する市民が増え、地域の活性化に繋がり、より良い川口市になると確信しています。

【中期ビジョンの推進と60周年事業準備】

2019年に新アクションプラン、Goal to 2024「自発的に学生と企業が協働できる場の創出」を策定して本年は4年目を迎えます。ステップ1「JCが中心となり、学校・企業と協力した事業の実施を行う」からステップ2「学生と企業が中心となる」と行われてきました。本年はステップ3「自発的に事業を行う」へと移行できるように、学校と企業、行政を交えサポートしながら形にしていきます。一昨年から多くの企業や学校関係者の方に協力を頂いており、中心となる企業、学校、行政を交え、私達が行ってきた行動を説明する場や、過去の内容を検証し、引継ぎを行う場を作ることが重要です。また、年間を通してどうサポートしていくのかも模索しなければなりません。そして、昨年より多くの関係者を巻き込み、地域への影響をより強めていただきます。

私達には、58年間の歴史や伝統があります。そして来年は、60周年と言う大きな節目の年になります。私達が今後どのように歩いていくのか。その道筋を議論する場を創出させていただきます。また、60周年のスタートが良くできる準備をしていただきます。

【市民に伝わる広報と厳格な組織運営】

市民に伝わる広報とは、市民に共感を得てもらわなければ意味がありません。川口青年会議所が行っている事業や例会をただ広報するのではなく、目に留まる広報が川口青年会

議所だったとインパクト性を持たせる必要があります。市民に伝わる広報をすることで、まだ見ぬ入会対象者に伝わり会員拡大にも繋がっていきます。そして、市民、他団体から共感を得ることで今後の事業をする際に力となっただけの広報を目標にし、HP、SNSの管理や更新も共に行っていただきます。また、昨年行われた「かわログ2022」を核に地域の魅力をより発見していただき、川口青年会議所のブランディングに繋がる事業を展開していただきます。昨年の内容を踏まえより良い運営を模索し、川口青年会議所だけで行うのではなく他団体と連携し事業を展開していただきます。

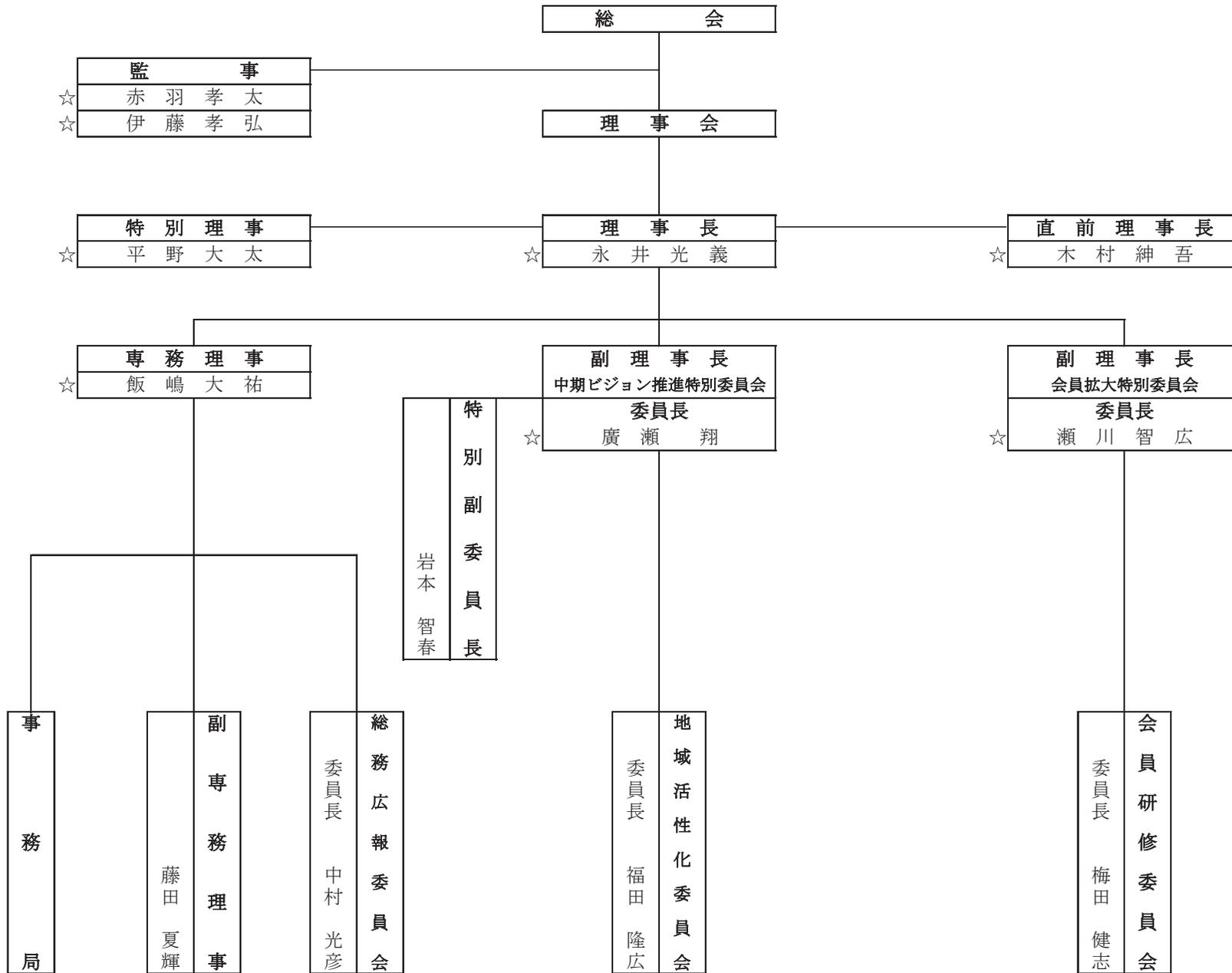
厳格な組織運営とは、年3回の最高決定機関である総会、毎月行われる理事会の設営を行い、各事業の予算管理をしていただきます。近年は、総会の出席率が低下している傾向にあります。自分自身の会費がどのように振り分け、どのように使われているのかを伝えます。出席率向上のために、今までとは違う新たな設えを模索し、出席率の向上にも力を入れていただきます。また、各委員会がスムーズにJ Cルームを使用できるよう管理も行っていただきます。

【おわりに】

私自身、入会当初から前向きに青年会議所運動を行ってきたわけではございません。しかし、思いやりあるリーダー的先輩諸兄姉に引っ張っていただき、青年会議所の魅力や楽しさを学び前向きに参加するようになりました。青年会議所で学んだ魅力や楽しさ、自分がしてもらってきたことを後輩に行い、次世代に継承していくことが重要です。私は、そんな先輩諸兄姉を見習い、思いやりあるリーダーになり、次世代に繋げ、また次世代が次世代に繋いでいく姿が川口青年会議所の姿だと考えます。

青年会議所は手を伸ばせば、引き上げてくれる団体です。しかし、自らが手を伸ばさなくては何も始まりません。今尚、新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか活動ができないメンバーや前向きに活動できていないメンバーがいます。しかし、例会・事業に参加することがすべてではありません。その過程の中で、自身がどう向き合っているのか、どう協力してくのかを考え意思を持ち、思い切って行動することで自身が成長し、地域が変化することで、明るい豊かな社会の実現に繋がると確信しています。

公益社団法人 川口青年会議所 2023年度 役員組織図 (案)



☆印はスタッフ会議メンバーとする